

SBI証券での  
募集期間  
2019年2月15日(金)  
~2019年3月27日(水)  
設定日  
2019年3月28日(木)

# モルガン・スタンレー社債 / マルチアセット運用戦略ファンド 2019-03

## 愛称: 攻守の果実 2019-03

単位型投信/内外/資産複合/特殊型(条件付運用型)

販売用資料 2019.02

当ファンドは特化型運用を行います。

お申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

## SBI証券

商号: 株式会社SBI証券  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号  
加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■設定・運用は

## T&Dアセットマネジメント

商号: T&Dアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第357号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料はT&Dアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載のデータは過去の実績もしくは表記時点での予測であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。ご覧いただくにあたっては、最終ページのご留意事項を必ずご確認ください。

## 10年後のために備えるお金

運用リスクを  
抑えたもので  
少しでも増やしたい

元本は  
減らしたくない

個人向け10年国債では  
ものたりない  
国債以上のリターンを  
望みたい

そんな方にご案内します。

**モルガン・スタンレー社債／  
マルチアセット運用戦略ファンド 2019-03**

**愛称：攻守の果実 2019-03**



## 1 約10年後に元本を確保することを目指します。

信託期間は約10年です。信託期間中のファンドの解約申込受付は可能ですが、日々変動する解約価額での換金となり、解約価額の水準によっては元本が確保できない可能性があります。元本に購入時手数料(税込)は含みません。

## 2 モルガン・スタンレーのグループ会社が発行する円建の債券へ投資します。

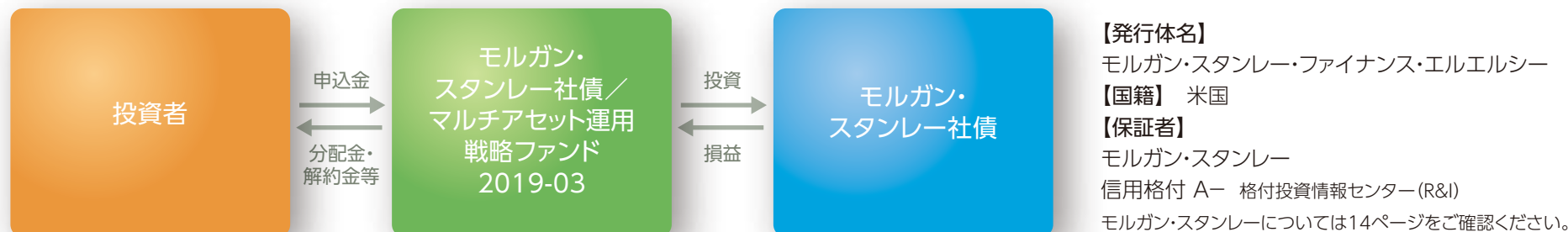
モルガン・スタンレーの円建のマルチアセットインデックス(MS DIRSインデックス2019-03、以下「対象インデックス」といいます。)のパフォーマンスを参照する社債です。

## 3 債券の利金収入の獲得を目指します。

債券の利金収入については3~5ページをご確認ください。

### ファンドの仕組み

ファンドはモルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行する円建の債券(モルガン・スタンレーの保証付、以下「モルガン・スタンレー社債」または「当該社債」といいます。)に投資します。



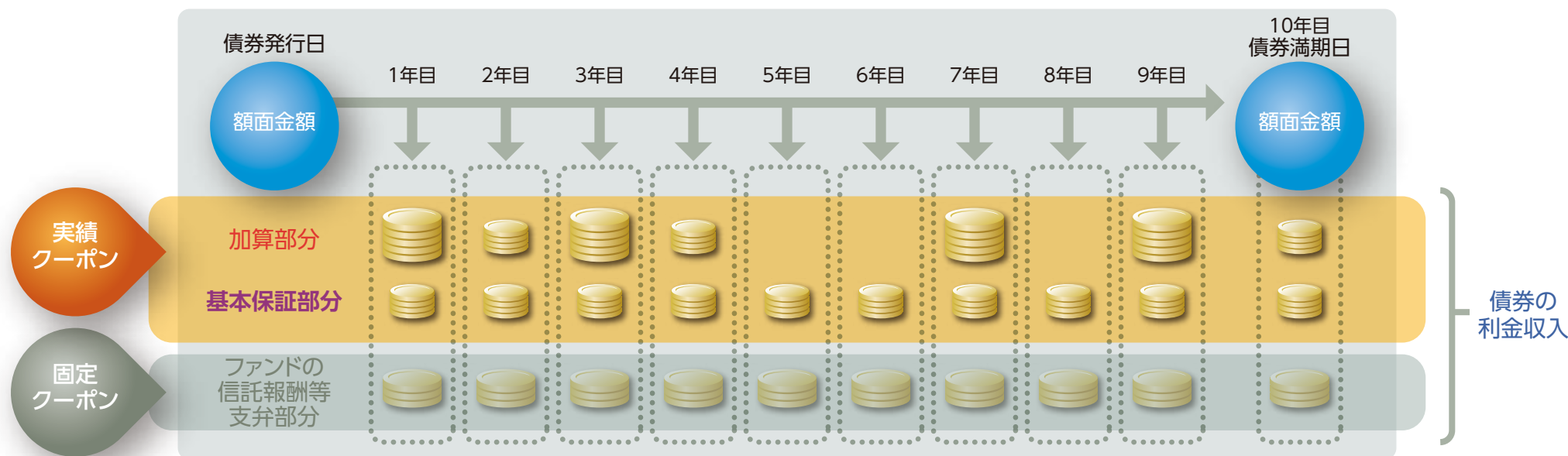
# 約10年後に元本確保を目指す仕組み



モルガン・スタンレー社債を高位に組み入れます。当該社債への投資で受け取る固定クーポンをファンドの信託報酬等(ファンドの諸コスト)に充当することで、ファンドの償還時の元本\*確保を目指します。

※購入時手数料(税込)は含みません。

## モルガン・スタンレー社債の利払イメージ



### 実績クーポン(ファンドの分配原資に充てられます。)

#### 基本保証部分

年1回の利払日に一定水準が支払われます。



#### 加算部分

年1回の利払日に対象インデックスのパフォーマンスが一定水準を上回った場合に加算部分が支払われます。上回らなかった場合には加算部分は支払われません。

### 固定クーポン

#### ファンドの信託報酬等支弁部分

年1回の利払日に一定水準が支払われます。ファンドの信託報酬等に充当します。

実績クーポンと固定クーポンの詳細は5ページをご確認ください。

10年目のクーポンは債券満期償還金に含まれます。

上記はイメージ図であり、将来の運用成果について示唆・保証するものではありません。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

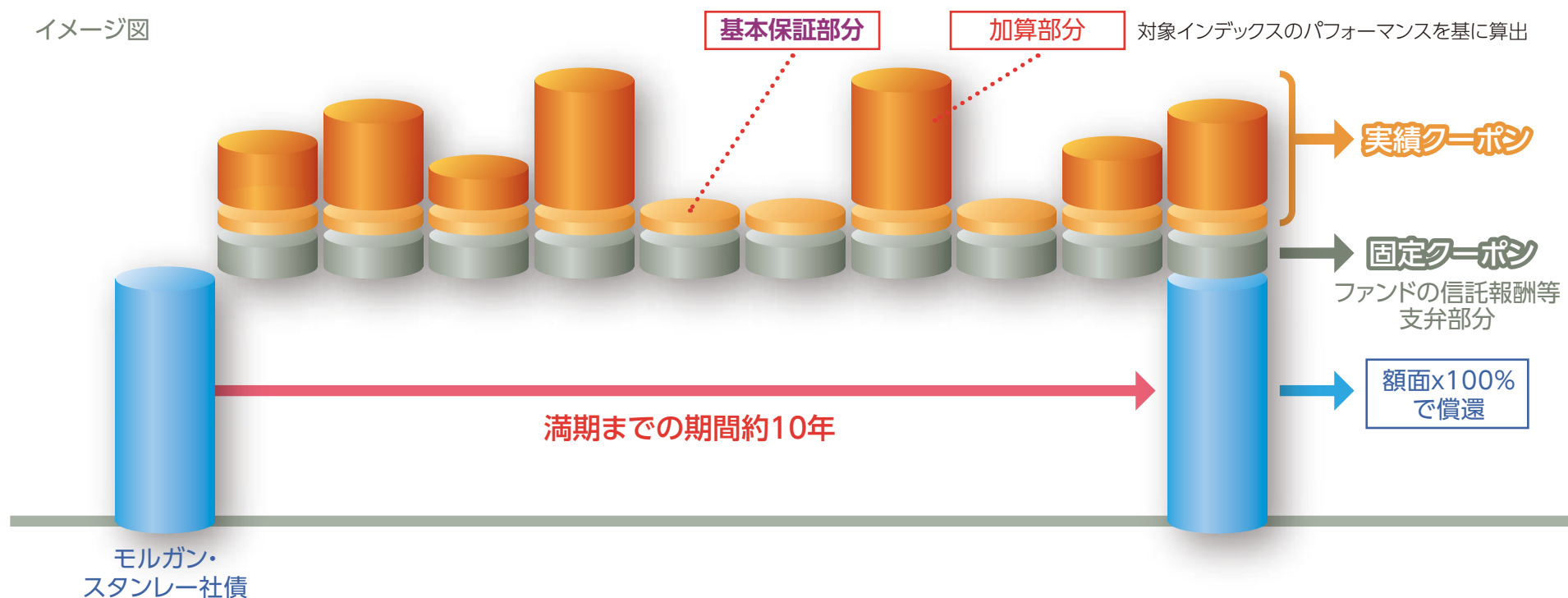
# モルガン・スタンレー社債について



モルガン・スタンレーのマルチアセットインデックスであるMS DIRSインデックス2019-03のパフォーマンスを参照する社債です。

対象インデックスのパフォーマンスに応じた実績クーポン(基本保証部分込み)と固定クーポン(ファンドの信託報酬等支弁部分)が支払われる仕組みになっています。対象インデックスについては15ページをご確認ください。

イメージ図



## 注意事項

モルガン・スタンレー社債の発行体および保証者のモルガン・スタンレーが、経営不振やその他の予期せぬ事態により、決められた元利金を支払えない(債務不履行)場合等には、ファンドの償還時の元本が確保できない可能性があります。また、信託期間中にファンドを解約される場合やファンドが繰上償還となった場合は、解約価額や償還価額が元本を下回る可能性があります。

上記はイメージ図であり、将来の運用成果について示唆・保証するものではありません。  
資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

# モルガン・スタンレー社債から支払われるクーポンについて (実績クーポンと固定クーポン)



## 実績 クーポン

対象インデックスのパフォーマンスに応じて、当該社債の年1回の利払日に、実績クーポンを受け取ることができ、**基本保証部分**と**加算部分**に分けられます。

**基本保証部分**…年1回の利払日に一定水準(当該社債の額面総額の0.11%を予定)を受け取ります。

**加算部分**\*…対象インデックスのファンド設定日からの累積収益率に応じて受け取ります。

※算出日における対象インデックスの累積収益率を経過年数で割った値が**基本保証部分**を上回らなかった場合には**加算部分**は支払われません。

実績クーポンの算出イメージは8～10ページをご確認ください。

## 固定 クーポン

ファンドの諸コスト  
支弁部分

ファンドの信託報酬等支弁部分です。

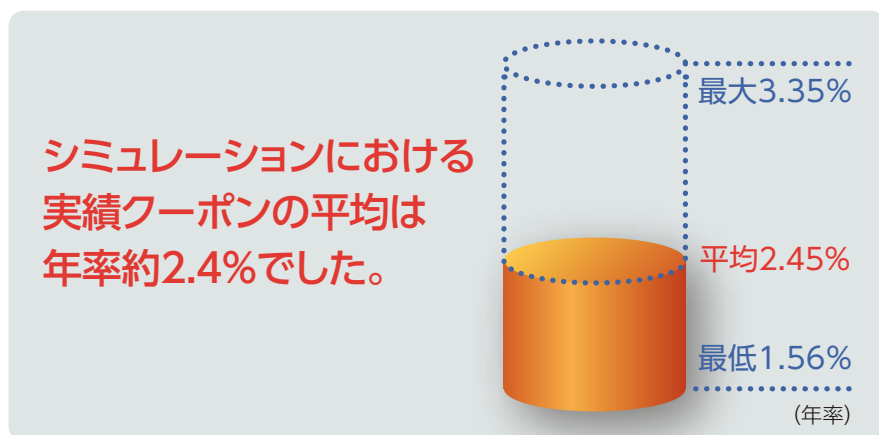
年1回の利払日に、当該社債から支払われる一定水準(当該社債の額面総額の0.40%を予定)をファンドが受け取り、信託報酬等に充当します。

上記は当該社債からファンドに支払われるクーポンについての内容であり、ファンドから受益者に支払われる分配金とは異なります。ファンドの分配金については11ページをご確認ください。

# 実績クーポンのシミュレーション



下記はファンドのイメージをつかんでいただくため、ファンドの概要に基づいたバックテストシミュレーションにより算出したものであり、実際の運用実績ではありません。あくまでもご参考としてご覧ください。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。対象インデックスの最終的な詳細はファンドの設定日に決定し、インデックス値の算出が開始されます。



出所:モルガン・スタンレーのデータを基にT&Dアセットマネジメントが作成

## 【シミュレーションの条件】

- 期間:2003年3月末～2018年11月末
- 毎月の最終営業日スタート(2003年3月末～2008年11月末)の各10年間に  
おけるバックテスト
- モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーを発行体とする円建の債券
- 年1回の利払い
- 対象インデックスはMS DIRSインデックス2019-03
- 固定クーポン(ファンドの信託報酬等支弁部分)は当該社債の額面総額の0.40%
- 実績クーポン(基本保証部分)は当該社債の額面総額の0.11%

## 【ご参考】

(年率)

	平均利回り (過去10年)	利回り (2018年11月末現在)
日本10年国債	0.63%	0.09%
定期預金	0.22%	0.02%
米国10年国債 (為替ヘッジ付き)	2.08%	0.50%

期間:2008年12月1日～2018年11月30日(日次、定期預金は月次)

出所:ブルームバーグ、日本銀行のデータを基にT&Dアセットマネジメントが作成

- 定期預金は日本銀行発表の預金種類別店頭表示金利の平均年利率(1千万円以上、10年)
- 日本10年国債と米国10年国債は各10年物国債の市場流通利回りを使用。
- 米国10年国債(為替ヘッジ付き)は、米国10年国債利回りに円の短期金利から米ドルの短期金利を差引いた簡便的な値を為替ヘッジコストとして計算した数値であり、実際とは異なります。短期金利は日本円1ヵ月LIBOR、米ドル1ヵ月LIBORを使用。

# 【ご参考】実績クーポンの各年のシミュレーション



下記はファンドのイメージをつかんでいただくため、ファンドの概要に基づいたバックテストシミュレーションにより算出したものであり、実際の運用実績ではありません。あくまでもご参考としてご覧ください。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。対象インデックスの最終的な詳細はファンドの設定日に決定し、インデックス値の算出が開始されます。

スタート日	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	累積	平均
2003年11月末	2.71%	2.86%	3.55%	3.20%	2.32%	2.62%	2.75%	2.62%	3.02%	3.06%	28.7%	2.9%
2004年11月末	2.86%	3.76%	3.20%	2.10%	2.46%	2.61%	2.47%	2.90%	2.94%	2.84%	28.2%	2.8%
2005年11月末	4.41%	3.18%	1.75%	2.24%	2.42%	2.28%	2.75%	2.80%	2.69%	2.56%	27.1%	2.7%
2006年11月末	1.79%	0.39%	1.39%	1.77%	1.70%	2.27%	2.36%	2.27%	2.16%	1.99%	18.1%	1.8%
2007年11月末	0.11%	1.15%	1.70%	1.62%	2.28%	2.37%	2.26%	2.13%	1.95%	1.91%	17.5%	1.7%
2008年11月末	3.34%	3.10%	2.54%	3.16%	3.10%	2.86%	2.63%	2.36%	2.28%	1.99%	27.4%	2.7%

出所:モルガン・スタンレーのデータを基にT&Dアセットマネジメントが作成

## 【シミュレーションの条件】

- 各スタート日から10年間におけるバックテスト
- モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーを発行体とする円建の債券
- 年1回の利払い
- 対象インデックスはMS DIRSインデックス2019-03
- 固定クーポン(ファンドの信託報酬等支弁部分)は当該社債の額面総額の0.40%
- 実績クーポン(基本保証部分)は当該社債の額面総額の0.11%



# 【ご参考】実績クーポンの算出イメージ(ケース①)



クーポン算出日における対象インデックスのファンド設定日からの累積収益率を経過年数で割った値が、おおよその実績クーポン(%)として利払日に支払われます。(基本保証部分があることで実績クーポンは0.11%以上になります。)

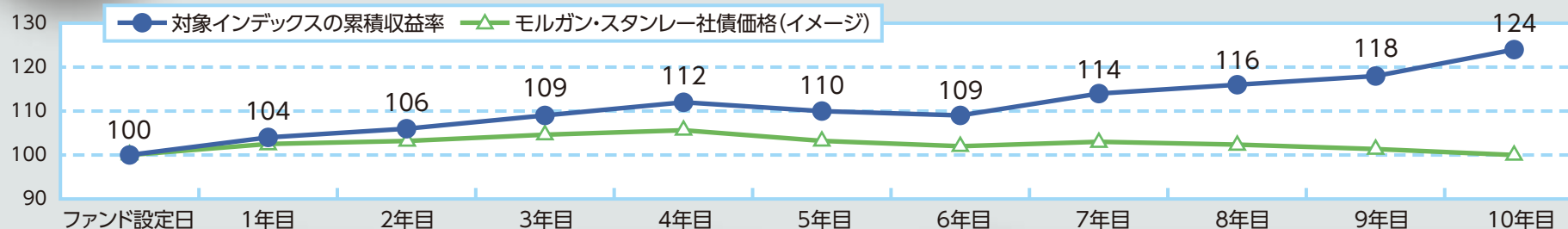
$$\text{実績クーポン(\%)} = \frac{\text{ファンド設定日からの累積収益率}}{\text{経過年数}}$$

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

下記はファンドのイメージをつかんでいただくため、3つのケースを想定してファンドの実績クーポンの算出例を示したものであり、実際の運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

## ケース①

単年度でマイナスパフォーマンスの年があるものの、基本的に対象インデックスのパフォーマンスが右肩上がりであったケース



1年目の実績クーポンは、 $4 \div 1年 = 4.0\%$

4年目の実績クーポンは、 $12 \div 4年 = 3.0\%$

インデックスのパフォーマンスを平準化することで、インデックスの単年度のパフォーマンスが前年比でマイナスの年でも当初からのパフォーマンスがプラスであれば実績クーポンが支払われます。6年目の実績クーポンは、 $9 \div 6年 = 1.5\%$

年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
実績クーポン	4.0%	3.0%	3.0%	3.0%	2.0%	1.5%	2.0%	2.0%	2.0%	2.4%
累積実績クーポン	4.0%	7.0%	10.0%	13.0%	15.0%	16.5%	18.5%	20.5%	22.5%	24.9%

実績クーポンの全部が分配金に充てられるわけではありません。モルガン・スタンレー社債価格は対象インデックスのパフォーマンスからの影響のみを反映した利払い後のイメージです。

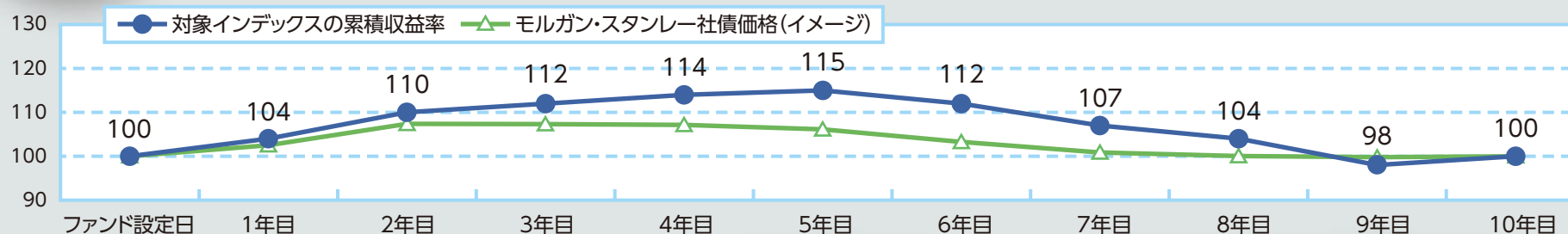
上記はイメージ図であり、将来の運用成果について示唆・保証するものではありません。

# 【ご参考】実績クーポンの算出イメージ(ケース②)



下記はファンドのイメージをつかんでいただくため、3つのケースを想定してファンドの実績クーポンの算出例を示したものであり、実際の運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

ケース② 対象インデックスのパフォーマンスがプラスからマイナスに推移し、フラットで償還日を迎えるケース



5年目の実績クーポンは、 $15 \div 5年 = 3.0\%$

9年目、10年目の実績クーポンは、累積収益率がマイナスもしくはゼロであるため基本保証部分の0.11%のみ

年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
実績クーポン	4.0%	5.0%	4.0%	3.5%	3.0%	2.0%	1.0%	0.5%	0.11%	0.11%
累積実績クーポン	4.0%	9.0%	13.0%	16.5%	19.5%	21.5%	22.5%	23.0%	23.11%	23.22%

実績クーポンの全部が分配金に充てられるわけではありません。モルガン・スタンレー社債価格は対象インデックスのパフォーマンスからの影響のみを反映した利払い後のイメージです。

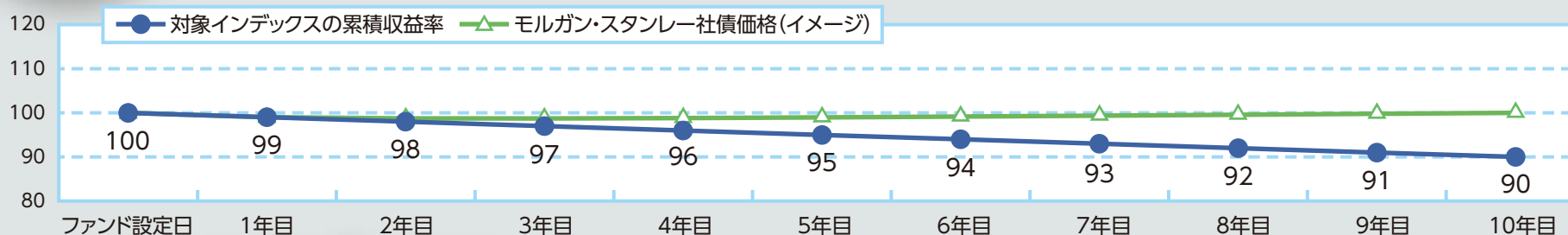
上記はイメージ図であり、将来の運用成果について示唆・保証するものではありません。

# 【ご参考】実績クーポンの算出イメージ(ケース③)



下記はファンドのイメージをつかんでいただくため、3つのケースを想定してファンドの実績クーポンの算出例を示したものであり、実際の運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

## ケース③ 対象インデックスのパフォーマンスが継続してマイナスとなったケース



設定日以降、継続して  
累積収益率がマイナスであるため  
基本保証部分の0.11%のみ

年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
実績クーポン	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%
累積実績クーポン	0.11%	0.22%	0.33%	0.44%	0.55%	0.66%	0.77%	0.88%	0.99%	1.10%

実績クーポンの全部が分配金に充てられるわけではありません。モルガン・スタンレー社債価格は対象インデックスのパフォーマンスからの影響のみを反映した利払い後のイメージです。

上記はイメージ図であり、将来の運用成果について示唆・保証するものではありません。

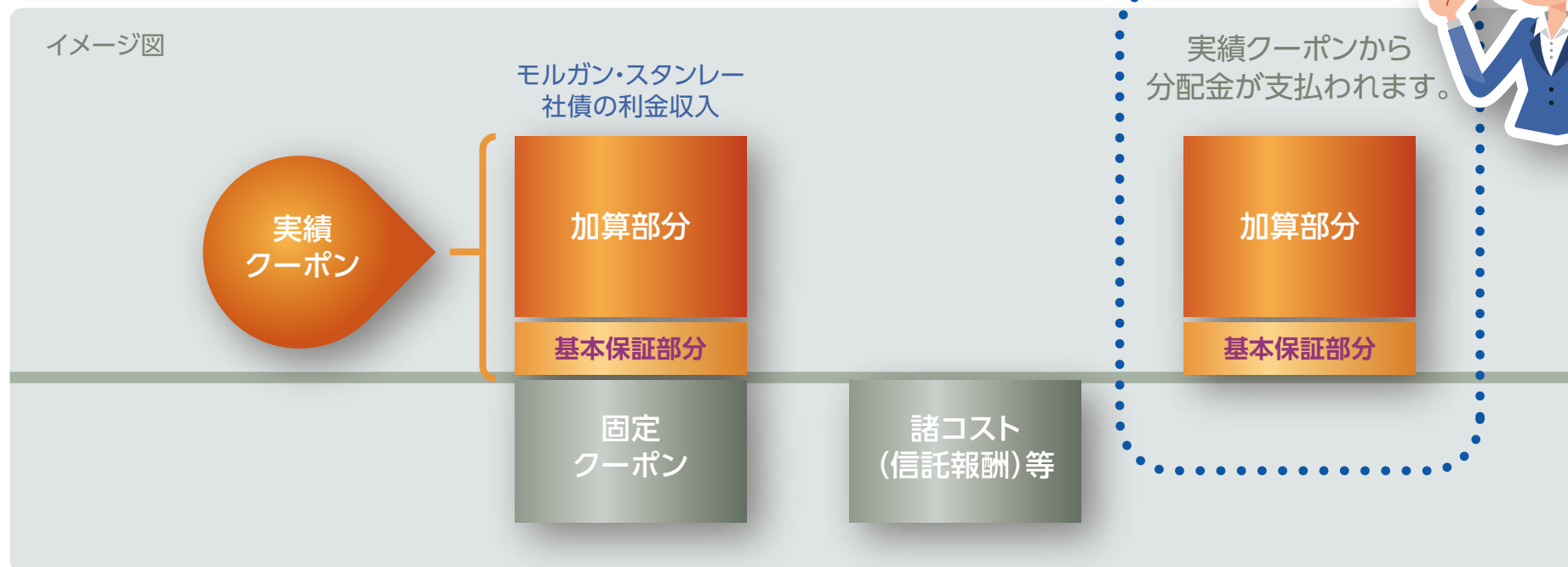
# ファンドの分配金について



毎決算時(3月27日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。  
分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。  
ただし、必ず分配を行うものではありません。なお、初回決算日は2020年3月27日です。



ファンドは受け取ったモルガン・スタンレー社債の利金収入から信託報酬等の諸コストを差し引いた分配原資をもとに年1回の決算時に分配を行うことを目指します。



上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。  
資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

# ファンドの基準価額の変動要因について



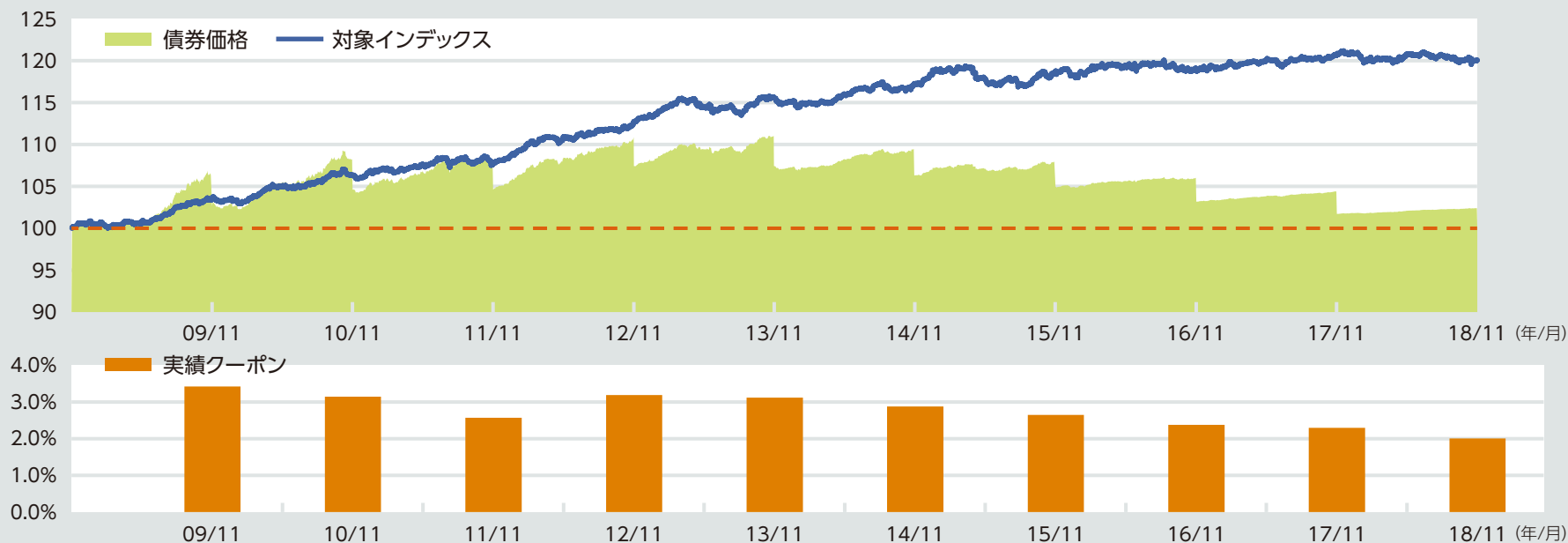
ファンドの日々の基準価額は、ファンドが投資する**モルガン・スタンレー社債の債券価格の時価**に連動する値動きになります。

## 【債券価格の主な変動要因】

- 対象インデックスのパフォーマンス
- モルガン・スタンレーの信用リスク
- 国内の金利(円金利)の動向

【ご参考】対象インデックスのパフォーマンスに基づいた債券価格のシミュレーション

下記はファンドのイメージをつかんでいただくため、ファンドの概要に基づいたバックテストシミュレーションにより算出したものであり、実際の運用実績ではありません。あくまでもご参考としてご覧ください。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。対象インデックスの最終的な詳細はファンドの設定日に決定し、インデックス値の算出が開始されます。



期間:2008年12月1日~2018年11月30日(日次)、対象インデックスは2008年12月1日を100として指数化

出所:モルガン・スタンレーのデータを基にT&Dアセットマネジメントが作成

上記の債券価格のシミュレーションでは、対象インデックスのパフォーマンスからの影響以外の部分は、2018年11月時点の市況が債券発行から満期まで継続すると仮定して簡便的に算出されています。毎年11月を利払月としています。

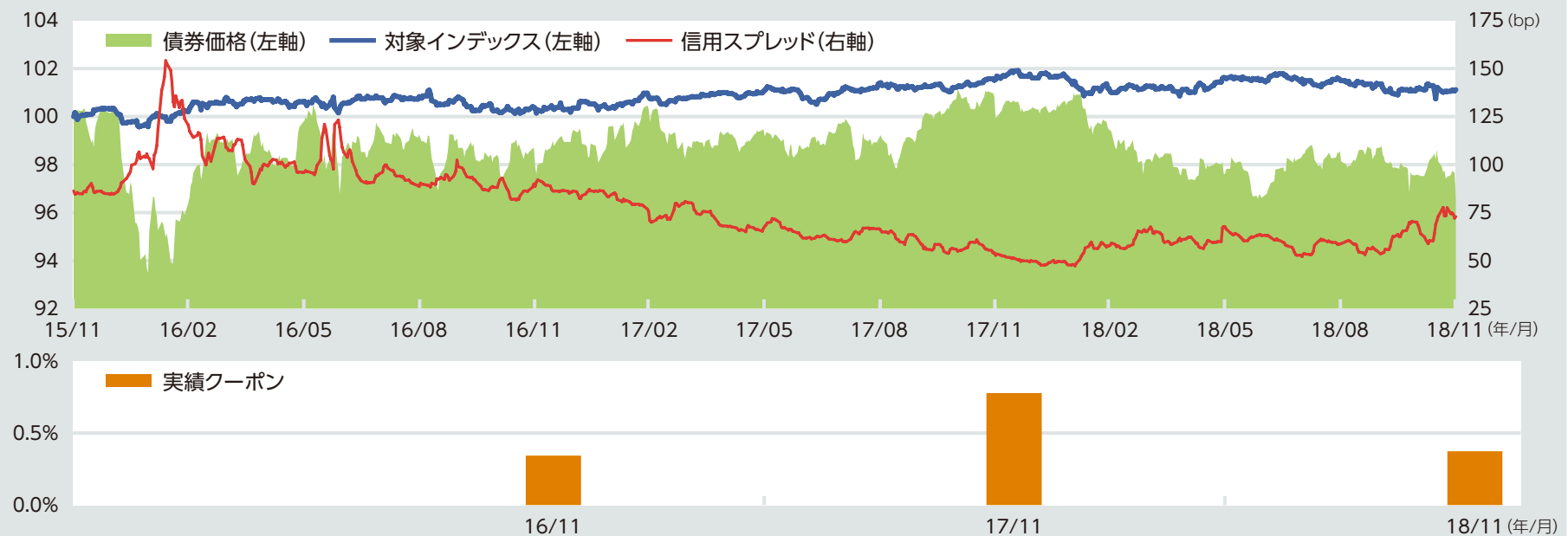
# ファンドの基準価額の変動要因(信用リスク)について



ファンドが投資するモルガン・スタンレー社債の価格の時価の変動要因の1つであるモルガン・スタンレーの信用リスクは、国債などの利回りに対する上乗せ金利の幅(信用スプレッド)で表されます。一般的に、国債などの利回り水準に変化がない中で、社債の発行体等に対する信用リスクが高まった場合、上乗せ金利が大きくなり、社債の価格は下落する傾向があります。逆に、信用リスクが低下した場合、上乗せ金利が小さくなり、社債の価格は上昇する傾向があります。

【ご参考】信用リスクに着目した債券価格のシミュレーション

下記はファンドのイメージをつかんでいただくため、ファンドの概要に基づいたバックテストシミュレーションにより算出したものであり、実際の運用実績ではありません。あくまでもご参考としてご覧ください。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。対象インデックスの最終的な詳細はファンドの設定日に決定し、インデックス値の算出が開始されます。



期間:2015年11月30日~2018年11月30日(日次)、対象インデックスは2015年11月30日を100として指数化、1bp(ベースポイント)=0.01%

出所:モルガン・スタンレーのデータを基にT&Dアセットマネジメントが作成

上記の債券価格のシミュレーションでは、対象インデックスのパフォーマンスからの影響に加えて、2015年11月末からの金利水準と信用スプレッドの変化分等を反映したと仮定して算出されています。

上記の信用スプレッドは、参考として5年物米ドル建てCDS<sup>※</sup>スプレッドを表示していますが、実際はモルガン・スタンレー債券の残存年限に応じた円ベースの信用スプレッドに連動します。

※CDS(クレジット・デフォルト・スワップ)とは債券発行体や債務者等の信用リスクを対象とする取引の一種

# モルガン・スタンレーについて

モルガン・スタンレーは、投資銀行、証券、ウェルス・マネジメント、資産運用事業において多岐にわたるサービスを提供する世界有数の総合金融サービス企業です。世界41カ国以上のオフィスを通じて、法人、政府、機関投資家、個人に質の高い金融商品およびサービスを提供しています。同社に関する詳細については[www.morganstanley.com](http://www.morganstanley.com)をご参照ください。

## Morgan Stanley

### モルガン・スタンレー (Morgan Stanley) 概要

所在地: 米国、ニューヨーク

純資産: 約95兆3,904億円\* (約8,517億米ドル)

- ▷ 1935年創業
- ▷ 約5.76万人\*の社員が在籍する総合金融サービス企業
- ▷ G-SIBs (グローバルにシステム上重要な金融機関) に認定
- ▷ 三菱UFJフィナンシャル・グループの持分法適用関連会社

\*2017年12月末時点、1米ドル=112円で換算

### モルガン・スタンレーの 主なビジネス

法人・機関投資家向け証券業務

ウェルス・マネジメント業務

資産運用業務

### モルガン・スタンレーの 信用格付

A-

格付投資情報センター (R&I)

2018年11月30日時点、発行体格付を使用、ファンドに組み入れる債券の格付とは異なります。



# 【ご参考】モルガン・スタンレーのマルチアセット運用戦略 MS DIRSインデックス2019-03

## 5資産分散型のMS DIRS(Diversified Risk Selection)戦略

- ◎ 株式、国債、為替、商品、REITの5資産へ投資します。
- ◎ 各資産のポートフォリオへのリスク寄与度が均等となるように投資します。  
ポートフォリオのリスクは一定の目標水準(年率3%上限)になるようコントロールすることを目指します。  
リバランスは年4回(3月、6月、9月、12月の月末)

徹底した  
リスク管理

### 対象5資産(投資ユニバース)

#### 株式

S&P先物(70%)、ユーロストック50先物(25%)、日経225先物(5%)による先進国株式バスケット指数

#### 国債

米国長期国債先物(33.3%)、日本長期国債先物(33.3%)、ドイツ長期国債先物(33.3%)によるバスケット指数

#### 為替

ユーロ、豪ドル、日本円、英国ポンド、ニュージーランドドル、カナダドル、スイスフランによるモルガン・スタンレー為替戦略

#### 商品

モルガン・スタンレーコモディティ戦略

#### REIT

米国不動産ETFとJ-REITを各50%組み入れる戦略

### 投資ユニバース

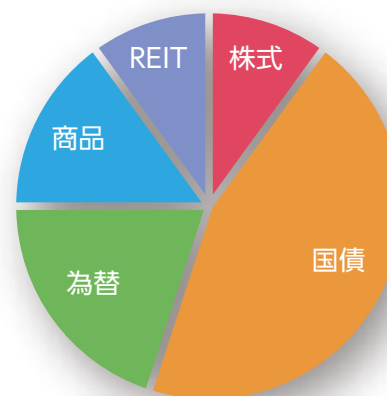


### リスク指標

過去500営業日の実現ボラティリティと相関係数を計測

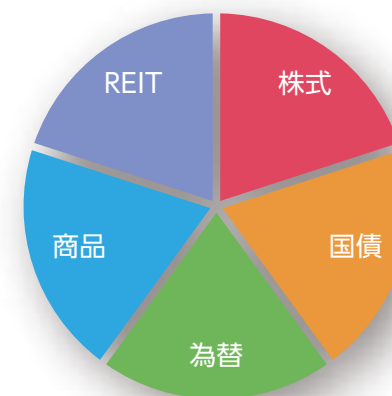
### 資産配分

各投資対象資産のリスク指標を計算し資産配分



### リスク配分

各資産の配分比率は異なるが、ポートフォリオへのリスク寄与度は同程度



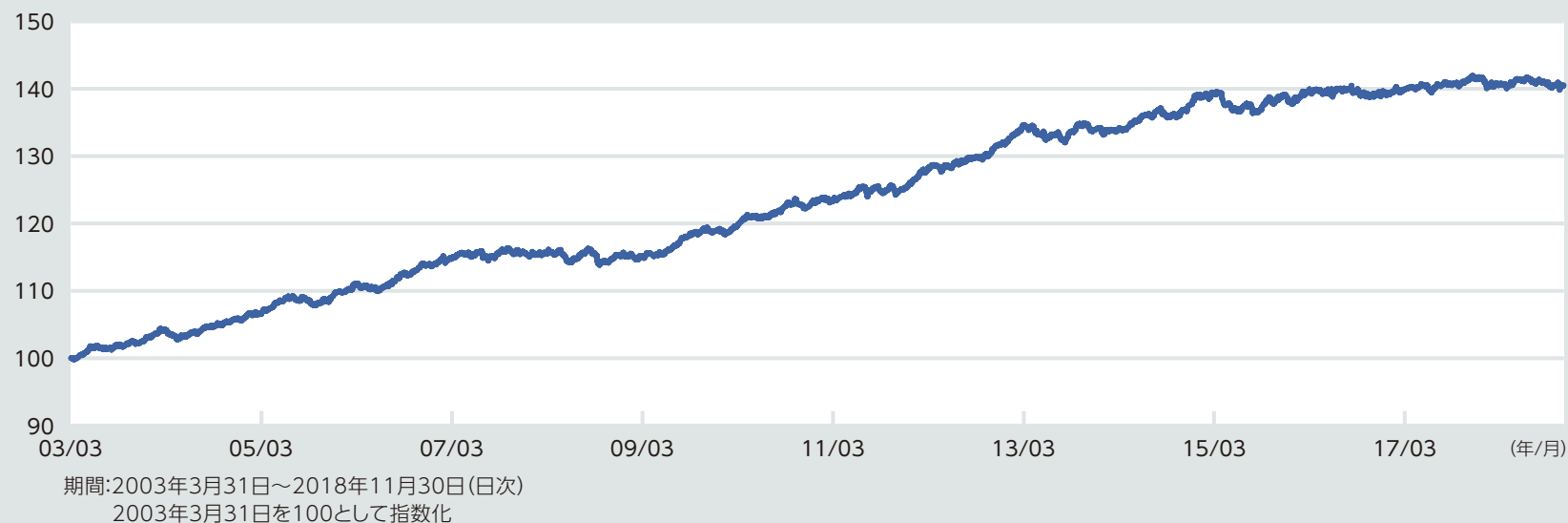
特定の資産の値動きの影響を軽減することができます。



## 【ご参考】MS DIRSインデックス2019-03の パフォーマンスシミュレーション

下記は対象インデックスを構成する資産の値動きを基にバックテストシミュレーションしたものであり、実際の対象インデックスの値動きではありません。あくまでもご参考としてご覧ください。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。対象インデックスの最終的な詳細はファンドの設定日に決定し、インデックス値の算出が開始されます。

### 【累積パフォーマンス】



### 【年次リターン】

2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
3.3%	3.1%	4.3%	1.7%	-0.4%	3.1%	3.1%	2.2%	5.0%	1.8%	2.8%	1.0%	0.0%	1.6%

期間:2004年~2017年(年次)

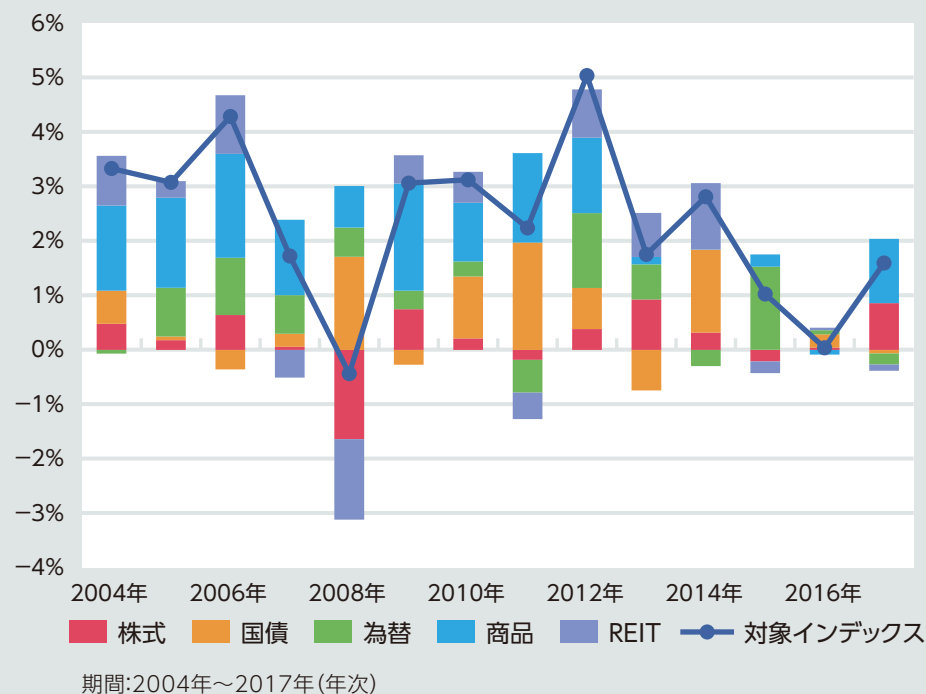
出所:モルガン・スタンレーのデータを基にT&Dアセットマネジメントが作成

対象インデックスの算出にかかる費用(インデックスの投資資産に対して年率上限1.0%)やその他取引にかかるコスト相当分が控除されています。ファンドの実績クーポン(年1回利払い)は単年度の収益率ではなく、ファンド設定日からの累積収益率を経過年数で割った値を基に決定します。実績クーポンの算出イメージは8~10ページをご確認ください。

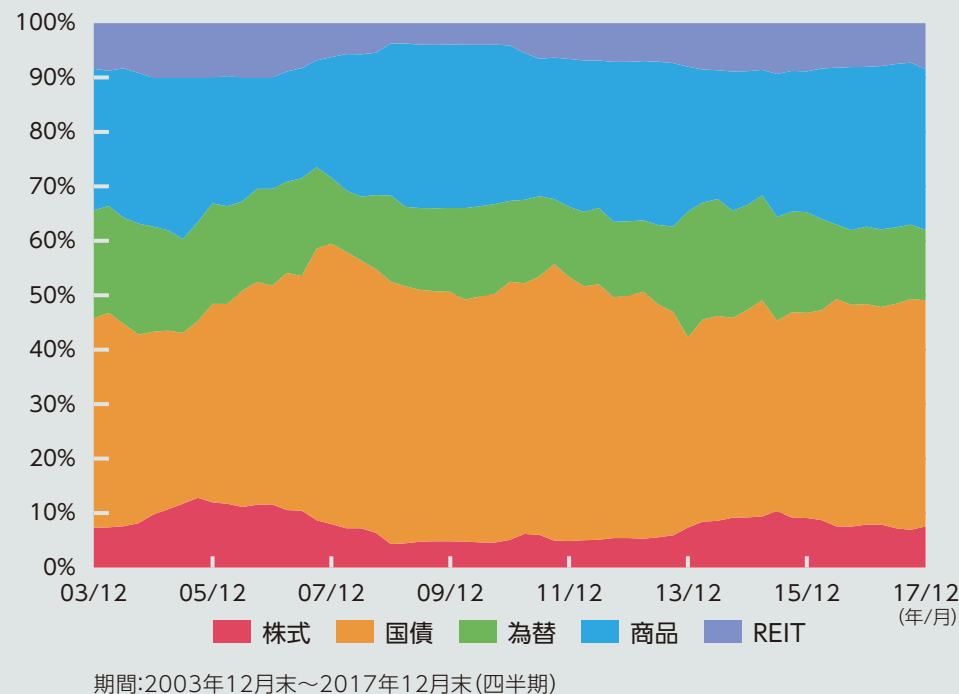
## 【ご参考】MS DIRSインデックス2019-03の パフォーマンスシミュレーション

下記は対象インデックスを構成する資産の値動きを基にバックテストシミュレーションしたものであり、実際の対象インデックスの値動きではありません。あくまでもご参考としてご覧ください。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。対象インデックスの最終的な詳細はファンドの設定日に決定し、インデックス値の算出が開始されます。

【ご参考】各資産の概算寄与度と対象インデックスのパフォーマンス



【ご参考】各資産の配分比率



出所:モルガン・スタンレーのデータを基にT&Dアセットマネジメントが作成

対象インデックスの算出にかかる費用(インデックスの投資資産に対して年率上限1.0%)やその他取引にかかるコスト相当分が控除されています。ファンドの実績クーポン(年1回利払い)は単年度の収益率ではなく、ファンド設定日からの累積収益率を経過年数で割った値を基に決定します。実績クーポンの算出イメージは8～10ページをご確認ください。



- モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券に投資し、設定日から約10年後のファンドの償還価額について、元本<sup>\*</sup>確保を目指します。ただし、投資する債券の発行体等が債務不履行となった場合等には、元本確保ができない場合があります。また、信託期間中にファンドを解約した場合やファンドが繰上償還された場合等には、換金価額や償還価額が元本を下回る場合があります。

※購入時手数料(税込)は含みません。

- モルガン・スタンレー社債の組入比率は、高位とすることを基本とします。また、満期まで保有することを前提とし、原則として銘柄入替は行いません。

- モルガン・スタンレーが提供するマルチアセット運用戦略を用いた円建の指数 (MS DIRSインデックス 2019-03) のパフォーマンスに基づいて算出される債券の利金の獲得を目指します。

MS DIRSインデックス2019-03の実質的な投資対象は、日本を含む世界各国の株価指数先物、国債先物、為替、商品先物、REIT等です。

- モルガン・スタンレー社債の利金は、固定クーポンに実績クーポンを加えて算出されます。なお、固定クーポンは每期一定水準支払われ、実績クーポンはMS DIRSインデックス2019-03のパフォーマンスに基づいて支払われます。

ファンドは「特化型運用」を行います。一般社団法人投資信託協会の規則において、投資対象に支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いものは、特化型ファンドと定められています。支配的な銘柄とは、寄与度(投資対象候補銘柄の時価総額に占める割合)が10%を超えるまたは超える可能性の高い銘柄をいいます。



## 基準価額の変動要因

**ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。**

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

<b>特化型運用に伴うリスク</b>	ファンドは、特定の銘柄に集中して投資を行いますので、多数の銘柄に分散投資する投資信託と比べ、信用リスクの影響は大きくなります。当該銘柄における信用リスクが発生した場合には、基準価額が著しく値下がりする要因となります。 また、モルガン・スタンレー社債の保証を行うモルガン・スタンレーおよび発行を行うモルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが、経営不振や業績悪化その他の予期せぬ事態に陥った場合や破綻した場合には、当該社債の価格は大幅に下落し、もしくは価値がなくなることがあります。これらの場合には、ファンドの一部または全部が毀損し損失を被る可能性があり、基準価額が著しく値下がりする要因となります。
<b>価格変動リスク</b>	ファンドは、モルガン・スタンレー社債への投資を通じ、日本を含む世界各国の株価指数先物、国債先物、為替、商品先物、REIT等を原資産とするMS DIRSインデックス2019-03に実質的に投資した場合のパフォーマンスに基づく利金の獲得を目指します。 当該社債の利金は対象インデックスのパフォーマンスに基づいて算出されるため、原資産価格の下落等により利金水準の低下が見込まれる場合には当該社債の価格も下落します。また、上記対象インデックスの原資産として当該社債は一部実質的に外貨建資産への投資を行いますので、通貨の価格変動によっても評価額が変動します。一般に外貨建資産の評価額は、円高になれば下落します。これらの要因が発生した場合、基準価額が値下がりする要因となります。 また、債券(公社債)は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。一般に市場金利が上昇した場合や発行体の信用度が低下した場合には債券の価格は下落し、基準価額が値下がりする要因となります。このため、当該社債の価格も、金利水準、発行体等の財務上の信用状況等の影響を受けて変動します。
<b>信用リスク</b>	ファンドはモルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーが保証する円建債券に投資します。モルガン・スタンレーの信用状況が、経営不振や業績悪化その他の予期せぬ事態により低下した場合、基準価額が値下がりし投資元本を確保できない可能性があります。 有価証券の発行者、または金融商品の運用先に債務不履行等が発生または懸念される場合、有価証券または金融商品等の価格は下落し、もしくは価値がなくなることがあります。これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。
<b>流動性リスク</b>	市場規模や取引量が小さい場合や、市場の混乱、取引規制等のために、取引が行えない場合、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。また、ファンドに大量の資金変動が生じた場合等には機動的に有価証券を売買できない場合があり、これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。
<b>中途換金時のリスク</b>	ファンドは、満期保有を前提に投資元本の確保を目指します。中途換金を行った場合やファンドが繰上償還となった場合、モルガン・スタンレー社債はその時の時価で換金されるため、ファンドの換金価額や償還価額が値下がりし投資元本を確保できない可能性があります。

基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

### ● その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

### ● 分配金に関する留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

● 対象インデックスに重大な変更が生じた場合や算出が停止された場合等は、当初想定していた分配を行うことができない可能性があります。

● ファンドの基準価額は、信託期間中に1万円を下回る場合があります。

# お申込みメモ、ファンドの費用



## お申込みメモ

購入時	購入の申込期間	2019年2月8日から2019年3月27日まで SBI証券での取扱いは2月15日からになります。
	購入単位	販売会社が定める単位 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入価額	1口当たり1円
換金時	換金単位	1口以上1口単位で販売会社が定める単位
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を差し引いた額
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間		購入については、購入の申込期間最終日の販売会社が定める時間までにお申込みください。 換金については、原則として午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
信託期間		2029年3月27日まで(2019年3月28日設定)
決算日		3月27日(休業日の場合は翌営業日) 初回決算日は2020年3月27日です。
収益分配		年1回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
申込不可日		下記のいずれかに該当する日には、換金の申込はできません。 ・ニューヨーク、ロンドンの銀行の休業日 ・大阪取引所、Eurex取引所、シカゴ・マーカントイル取引所、シカゴ商品取引所、ニューヨーク証券取引所、ニューヨーク・マーカントイル取引所およびロンドン金属取引所の休業日

## ファンドの費用

### ● 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 <b>1.62% (税抜1.5%) を上限</b> として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 購入時手数料は、ファンドの商品説明、販売に係る事務費用等の対価です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

### ● 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、ファンドの元本総額に <b>年0.3780% (税抜0.35%) 以内</b> *1の率を乗じて得た額とします。 ファンドの運用管理費用(信託報酬)は日々費用計上され、ファンドの基準価額に反映されます。	
	[運用管理費用(信託報酬)の配分] (年率)	
	支払先	信託報酬率(税抜) 対価の内容
	委託会社	0.14%以内*2 委託した資金の運用等の対価
	販売会社	0.19% 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
	受託会社	0.02% 運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他の費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>信託財産にかかる監査費用および当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。</li> <li>証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産中から支弁します。</li> </ul> これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。	

\*1 有価証券届出書提出日(2019年2月8日)現在は年率0.35%(税抜)  
\*2 有価証券届出書提出日(2019年2月8日)現在は年率0.14%(税抜)

上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



## ご留意いただきたい事項

- 当資料はT&Dアセットマネジメントが作成した販売用資料です。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料で使用するデータは過去の実績もしくは表記時点での予測であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社にてご入手いただけます。

## 照会先

### T&Dアセットマネジメント株式会社

電話番号：03-6722-4810

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

インターネットホームページ：<http://www.tdasasset.co.jp/>

## 当資料で使用するデータについて

- MS DIRSインデックス2019-03  
モルガン・スタンレー・アジア・リミテッド又はその関係会社は、MS DIRSインデックス2019-03の独占的所有権を有しています。モルガン・スタンレー・アジア・リミテッド又はその関係会社及びデータの作成又は編集に関与又は関係する他の当事者は、いかなる場合も、いかなる者に対しても、同指数並びにこれらに関連するデータの正確性(計算上の過誤・遺漏を含む)、完全性、適時性又は利用可能性、同指数の使用から得られる結果又は過去、現在若しくは将来の運用成績、又は同指数に基づく金融商品への投資の妥当性を、明示的にも黙示的にも保証し、推奨するものではなく、かつ、同指数の利用又は使用に関連して発生することのある、いかなる損害、費用又は損失に対しても責任を負いません。
- 当資料中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## ファンドの関係法人

### 委託会社：T&Dアセットマネジメント株式会社

信託財産の運用指図等を行います。

### 受託会社：三井住友信託銀行株式会社

信託財産の保管・管理業務等を行います。



T&Dアセットマネジメント